

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンターフェニックス（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しく通所しており、保護者からも満足してもらえている。	こどもの心に寄り添い、チームとしてこどもと保護者・園を安定して支えるよう職員同士で意見交換している。 こどもの小さな変化に気づき、困った時には保護者・園とともに考えたり成長を喜べる情報交換を行っている。	こども・保護者・園と今後も密にコミュニケーションをとり、こどもには楽しみに通所できる活動内容を充実させる。 保護者にも安心してもらえるようこどもの成長を情報伝達する。 園とも大集団・小集団での役割分担をし、ともに成長を支える。
2	活動の様子や行事予定、情報について、施設だより、連絡帳等を通じて伝達できている。	連絡帳に活動の様子を記載するとともに、送迎時に保護者に伝達している。 事業所だよりは行事の様子を掲載し、取り組みがわかるように写真を掲載している。	保護者に様子を詳しく伝達する。保育園に在園するこどもの保護者に会う機会が少ないが、連絡帳、メールで様子を伝達する。 今後も事業所だよりを発行し、保護者に取り組みを伝える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者や兄弟児を交えた交流・支援の機会が少ないと感じられている。	地域の人を招く法人での行事であるフェニックスまつりに家族での来場があったが、交流の機会が少ない。	地域交流としてのまつりであることを広報し、職員が仲介して利用者同士の交流を促進する。